

ガラスの島「新島」へ

竹芝桟橋からフェリーで8時間半、160km離れた新島へ行ってきました。東京都とは思えないほど自然豊かな島です。新島を歩いてみると、至るところに新島特産の抗火石を使用した石像があります。渋谷駅にあるモヤイ像は、実は新島から寄贈されたものだそうです。モデルはもちろんイースター島のモアイ像ですが、新島方言の「もやう」（力を合わせる、助け合うの意）の意味もあります。海岸の高台にはパルテノン神殿風の露天風呂があり、24時間無料で入ることができます。またキャンプ場も無料なのでアウトドア好きには何ともありがたい島なのです。

抗火石はガラス質主体の鉱物であり、海岸の砂浜も真っ白でキレイです。このガラス質の砂を溶解すると、オリーブグリーン色のガラスになり新島ガラスが出来上がります。そんなガラスの島には、ガラス工芸の展示や吹きガラス体験を楽しめる“新島ガラスアートセンター”があります。秋には新島国際アートフェスティバルが開催され、国内外からのガラス作家が集まり、ワークショップやレクチャーが行われます。次回はガラス体験でもっと新島ガラスに触れてみたいと思います。

今回はフェリーでゆっくり行きましたが、時間のない方はスピードボートや飛行機で行くこともできますので、ぜひガラスの島を訪れてみてはいかがでしょうか。



HARIO SCI. NEWS

VOL.87

HARIO

ハリオサイエンス 株式会社

〒110-0008 東京都台東区池之端 3-1-25

TEL:03-5832-9571

FAX:03-5832-9572

sales@harioscience.com

1個から買えます



HARIO SCI.
ONLINESHOP

【次号予告】

耐熱ねじ口瓶で
テラリウム作り

